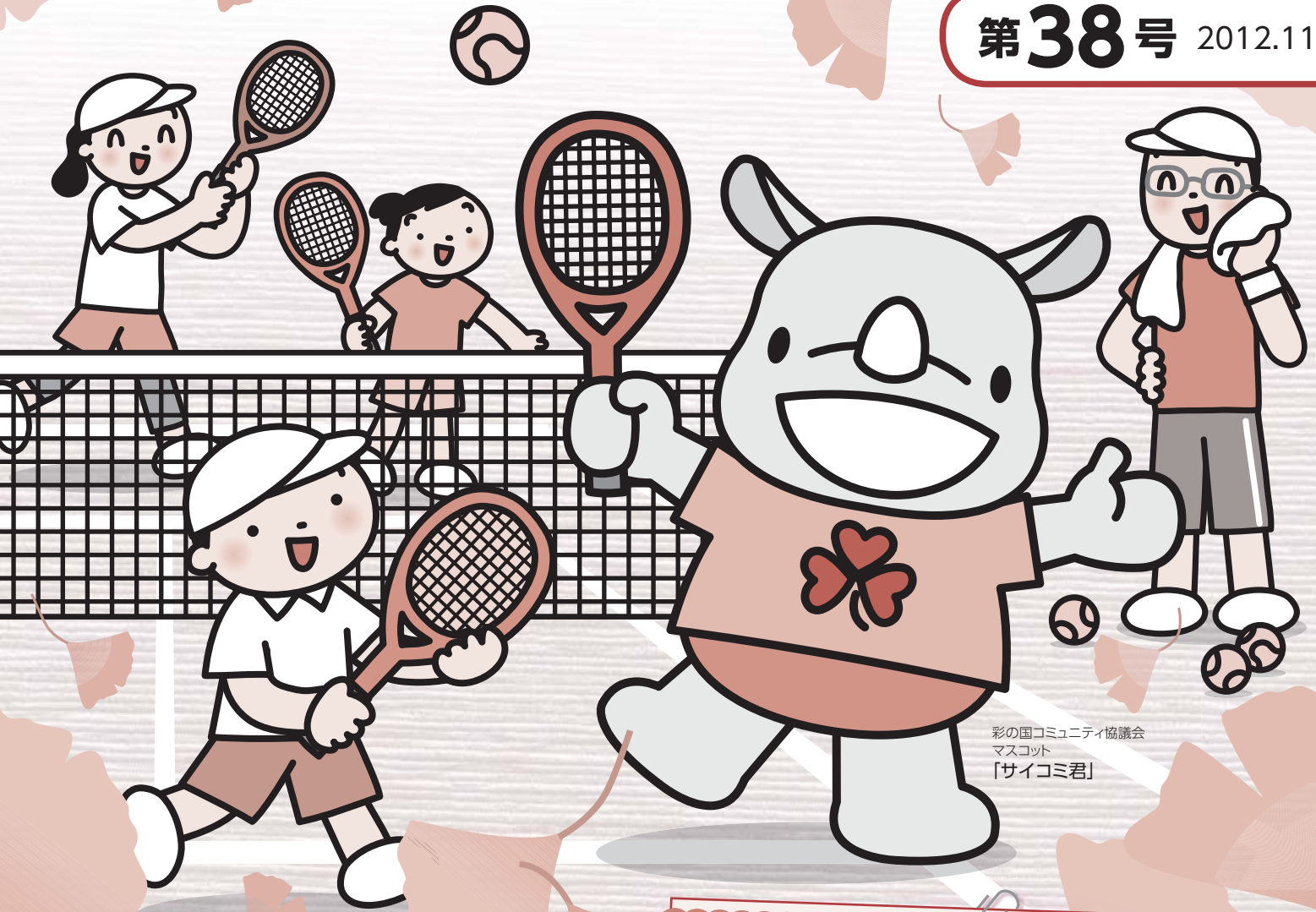




広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会

第38号 2012.11



彩の国コミュニティ協議会
マスコット
「サイヨミ君」

CONTENTS [主な内容]

- P2 彩の国コミュニティ協議会 共助事例発表会
 - 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会
 - P3 共助 ～支え合う地域社会を目指して～
 - もしもの災害に備えて…
 - 「参加してみよう避難所設営訓練・泊ってみよう体育館」
 - 市町村コミ協の魅力発見!
 - 蕨市コミュニティ運営協議会
 - P4 御利用ください!
『コミュニティ協議会支援型』自動販売機
- 11月14日(水)は県民の日

彩の国コミュニティ協議会

会員&賛助会員 募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

会 員	■ 対象：企業・団体
	■ 会費：企業1口 5,000円を2口以上 団体1口 5,000円を1口以上

賛助会員	■ 対象：個人
	■ 会費：1口 2,000円

入 会 特 典	賛助会員だけの 入会記念として
	サイヨミ君のストラップと プリズム反射シールをプレゼント!



お知らせ 「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。詳細については事務局へお問い合わせください。



彩の国コミュニティ協議会 共助事例発表会

平成24年9月20日(木)、彩の国コミュニティ協議会の共助事例発表会が開催されました。住民が安心して暮らせる地域づくりを目指して活動する「鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」の柴崎会長をお招きし、御講演をいただきました。

新しい地域支え合いのカタチ

鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会
会長 柴崎光生 氏

◆活動のきっかけ

鶴ヶ島第二小学校区には10の自治会が存在し、従来から合同で盆踊りや運動会を行うなど地域の連携を深めてきました。ある時、市の防災訓練に参加したところ、救急車や消防車、ヘリコプターまで登場するようなものでした。実際に災害が起これば、ヘリコプターはおろか救急車や消防車もすぐに来てくれるとは限りません。木造の家屋は倒壊し、火災も発生、住民は避難所である小学校に集まってくることがになります。その時に誰が皆さんの整理をするのか、いざという時に避難所がきちんと機能しなければならないと感じ、平成20年3月に避難所運営委員会を立ち上げました。運営委員会では、まず小学校に避難した際に自治会ごとによどの教室に集まるのかを決めました。授業中に地震が起きた場合を想定し、学校の協力のもと授業中に訓練を行ったこともあります。子供たちも学年ごとではなく地域ごとに避難したことにより、地域の皆さんと子供たちの顔合わせにもなりました。

このような活動を2~3年続けていく中で、防災だけやっていけばいいのかという意見が地域から出てきました。そこで、平成23年度に県のモデル事業を活用し、福祉や子育て、青少年育成などを核とした新しい支え合い協議会を立ち上げました。

◆支え合い協議会としての活動

防災活動については引き続き実施しており、昨年度は新たに宿泊型の避難訓練も行いました。また、役員を対象にAEDの講習などスキルアップにも努めています。今年度は地域の災害時要援護者約100名を避難させることに重点を置き、民生・児童委員を中心とした救護委員に加え、医師会や福祉施設、公民館とも協力して実施していきたいと考えています。

福祉の面では、孤独死などが起こらないよう見守りチームを編成しました。また、子育てサロンを学校の中に設け、交流の場としています。併せて地域にある子育て支援団体のネットワークをつくり、月末にはプレイパークという子供の体験活動にも精力的に取り組んでいます。

10月からは、県内でも広がっている「地域支え合いおたすけ隊」も実施していく予定です。

◆活動のポイント

事業が成功している理由として、行政との関係がうまく機能していることがあげられます。これまでは市役所が提案し地域が協力するという関係が多くありましたが、私たちは自主的に行っています。また、時間のゆとりと経験のある高齢者の人材を発掘していくことが必要です。多くの方々は「大義」で活動を行っています。参加者はボランティアであり、私たちはモデル事業でも報酬や謝金を要求しません。そうでないと、助成が終わった時に事業自体も終わってしまうからです。みんなで「大義」を共有することが、多くの住民の参加と継続につながっています。

最後に、学校との連携も大きなポイントです。現在、私たちは第二小学校の空き教室に事務室を置かせてもらっています。防犯の面から学校をガードしているケースが多く、県内でこれほどまでに住民が自由に出入りしている学校はないと思います。第二小学校はあえて開放してござっており、私たちも学校の英断を裏切らないよう地域の目で子供たちを見守っています。

これからは、地域の課題を自分達で考え、知恵を出し合っていくことが求められます。その上で行政にお願いしていくこと、それが新しい公共の姿ではないかと感じています。



講演する柴崎会長

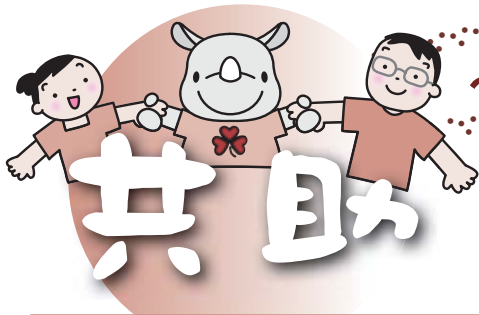


高齢者の見守り活動



プレイパークの様子





～支え合う地域社会を目指して～

東日本大震災以降、地域の「絆」や「つながり」の大切さが改めて認識され、地域社会が本来持っている助け合いの再生が強く求められています。

そこで、様々な主体が連携・協働して行う共助の取組について御紹介します。皆様の活動の参考にしてください。

もしもの災害に備えて…「参加してみよう避難所設営訓練・泊ってみよう体育館」

平成24年10月13日(土)から14日(日)にかけて、所沢市自治連合会では彩の国コミュニティ協議会の助成金を活用し、市内初となる避難所設営宿泊訓練を実施しました。会場の市立安松中学校には、近隣の3つの自治会の住民や中学生のボランティアをはじめ180名を超える方が集まりました。

参加者はまず、火災に備えて視界ゼロの「けむり体験ハウス」を体験。「避難所訓練12のルール」の説明を受け、消防署や社会福祉協議会の指導のもと車いす体験や応急救護を学ぶ防災教室に参加しました。仮設トイレの組み立てやカセットボンベを使った発電機の操作には、市や地元企業にも御協力をいただきました。参加者が一丸となって避難所生活に必要な環境を整えることができ、「実際に使用する機材を見ることができて良かった」「このような機会はどんどん設けていった方が良い」などの声が寄せられました。また、電気・ガス・水道が使えない状況を想定し、薪を使った炊き出し訓練ではカレーライスを作ったほか、実際に仮設トイレも設置し、夜は体育館に約40名の方が段ボールと毛布のみで宿泊体験を行いました。2日目は、市オリジナルの健康体操(とこしゃん体操)を実施するなど、地域の絆を深めるきっかけにもなったようです。

万が一、災害が起こっても支援物資や公の援助がすぐに届くわけではありません。自治連合会では今回の事業を踏まえ、避難所設営宿泊訓練の報告書を作成し、他の地域にも活かしていきたいと考えています。

所沢市自治連合会事務局●所沢市コミュニティ推進課 04-2998-9083



車いすの方の避難も想定



一致団結で仮設トイレ設置



機材の説明を受ける参加者

市町村コミ協の魅力発見!



県内には65の市町村コミュニティ協議会(=コミ協)が地域性、特性を活かして活動しています。あなたがお住まいの地域のコミ協はどんなところでしょう??

蕨市コミュニティ運営協議会



田んぼの学校は大盛況!

蕨市のコミュニティ活動は、昭和46年に全国でもいち早く自治省(当時)によるモデルコミュニティの指定を受け、昭和49年に「蕨市コミュニティ推進条例」を制定、活動の拠点として各5行政区にコミュニティセンターを設置しました。さらに昭和54年には蕨市コミュニティ運営協議会を設立し、市民憲章に基づく理想のまち実現のため様々な活動を行ってきました。

平成21年度には、市制施行50周年を記念して市民の憩いの場である市民公園(塚越地区)では「蕨市民公園桜まつり」、駅前商店街のある中央地区では「ハロウィンワールド in WARABI」を行うなど各地区の特性にあった事業を展開し、現在も継続して

コミュニティの拡充を図っています。

そのような中、緑の多い錦町地区で開校した「田んぼの学校」は、次代を担う子供たちに米づくりを通じて命の大切さや自然の豊かさを伝えようと取り組み始めた事業です。田植え、稲や生物の観察、稲刈りなど7か月にわたる事業は参加する子供たちだけでなく、保護者やスタッフ、農家の方々など年間500人以上が参加する地域事業となりました。これからもコミュニティ活動を通じて地域の絆を深め、ふるさと蕨を想うきっかけになればと考えています。

事務局●蕨市安全安心推進課 048-433-7755



御利用 『コミュニティ協議会支援型』自動販売機

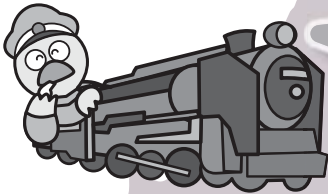
ください!



埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)の入り口横に、サイコミ君が描かれた可愛い自動販売機が登場しました。この自動販売機で飲料水を買くと、その売上の一部が当協議会に寄付され、県内のコミュニティ活動の推進に役立てられるというものです。

今回設置された「第1号」の支援型自動販売機は、当協議会の会員で県民活動総合センターを管理する(財)いきいき埼玉と、同じく会員の三国コカ・コーラボトリング(株)の協力を得て設置されました。今後も支援型自動販売機を増やし、コミュニティ協議会が進める共助社会づくりの取組や、地域活動をPRしていきたいと考えています。

現在、設置に御協力いただける事業者を募集していますので、ぜひ協議会事務局までお問い合わせください。



11月14日(水)は県民の日

毎年11月14日は、埼玉県の誕生を記念して県の歴史や風土を見つめ直し、埼玉県に対する愛着を深める「県民の日」として定められています。彩の国コミュニティ協議会では、県内各鉄道会社に御賛同をいただき、「県民の日」に限り各鉄道会社ごとに乗り放題となる「記念フリー乗車券」の発売に協力しています。

【販売場所】県内各駅(つくばエクスプレスは全駅)		【有効日】11月14日(水)	
西武鉄道 【大人】 460円 【子供】 230円 【販売日】 11月 8日～14日	東武鉄道 【大人】 460円 【子供】 230円 【販売日】 11月 8日～14日	秩父鉄道 【大人】 1,000円 【子供】 500円 【販売日】 11月 14日	埼玉新都市交通 【大人】 400円 【子供】 200円 【販売日】 11月 8日～14日
埼玉高速鉄道(全線乗り降り自由) 【大人】 660円 【子供】 330円 【販売日】 11月 14日	つくばエクスプレス(全線乗り降り自由) 【大人】 2,300円 【子供】 680円 【販売日】 11月 14日	JR線のフリー乗車券は販売しておりません。Suicaを御利用ください。	

当日は、シラコバト賞やあしたのまち・くらしづくり活動賞の表彰式等が行われる記念式典や、県庁オープンデーなどイベントが盛りだくさんです。

詳しくは、県ホームページ (<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kenminnohi/>) や彩の国だよりを御覧ください。

【県民の日記念事業についてのお問い合わせ】 埼玉県県民生活部 広聴広報課魅力発信担当
TEL▶048-830-3192



プチ情報!

彩の国コミュニティ協議会マスコットのサイコミ君が、PR活動を行っています。ゆるキャラ® グランプリ2012にも参加し、皆さんにコミュニティ協議会を知っていただくため、県内を中心に日々奮闘中です。

サイコミ君
イベント
出演情報

県民の日「県庁オープンデー」	11月14日(水)	9:30～16:00	【埼玉県庁】さいたま市浦和区高砂3-15-1
首都圏外郭放水路特別見学会	11月17日(土)	10:00～15:30	【首都圏外郭放水路】春日部市上金崎720
ゆるキャラ® さみっと in羽生	11月24日(土)	9:00～15:00	【羽生水郷公園】羽生市三田ヶ谷751-1

